

# 活動報告書

2007年度(平成19年度)

2007年3月1日～2008年2月29日



セブン-イレブン  
みどりの基金

## 2007年度(平成19年度) 活動のご報告

セブン-イレブンみどりの基金の2007年度(平成19年度)の収入は、店頭募金3億5622万6190円、セブン-イレブン本部からの寄付金6666万8220円、繰越金1702万2620円その他を合わせ、合計5億6602万7645円となりました。

支出は事業費2億7718万6041円、管理費7478万8348円を合わせ、支出合計は3億5197万4389円となり、お客様からの募金とセブン-イレブン本部からの寄付金をもとに、“環境”をテーマに活動している環境市民団体への支援事業や自然環境の保護・保全事業、地域環境の美化事業、広報事業を行いました。なお、次年度助成金積立預金として1億8000万円を計上しております。今年度の広域災害時義援活動では、2007年3月能登半島地震災害、7月の新潟県中越沖地震災害と台風第4号及び梅雨前線による大雨被害に対して合計1億1341万1363円の義援金募金をお預かりし、それぞれの被災地にお届けいたしました。

環境NPO事業の公募助成制度では、市民が主体となって活動する団体がより継続的に、より発展的に活動できるよう、支援の目的や内容に合わせた6種類の助成を設けて制度の充実を図り、2007年度は合計161の団体に総額1億338万2710円を助成いたしました。地域の環境市民団体の支援を目指す地域活動支援では、8月に九州の中間支援組織「環境活動支援センター九州設立準備会(仮称)」が設立され、地域の環境市民団体を支援する体制が整いました。また、助成制度への理解を促す助成金セミナーなどを地域の中間支援組織と共同で開催いたしました。

自然環境の保護・保全活動事業では、自然災害復元・復興活動として、2006年から官民一体となって取り組んでいる台風被害地域の国有林を再生させる「支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり」の植樹事業に対し、環境省から「平成19年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰(対策活動実践部門)」を受賞いたしました。また、4月には大分県九重町に「九重ふるさと自然学校」を開校し、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」ことを基本理念として、自然の大切さ、すばらしさを学べる生涯学習の場の提供や次世代につながる人材の育成を目指しています。

地域環境美化事業では、グループ全社が参加する「セブン&アイHLDGS.全国一斉清掃活動」、スカウトによる「カントリー大作戦」、北海道全域で展開する「ラブアース・クリーンアップ in北海道」、「札幌大通公園花壇出展」、「広島市グリーン・パートナー事業への協賛」などを行い、美しい街並みの実現を目指した活動を続けています。

広報事業では、自然環境への意識を高めていただくために北海道と九州で開催する森林マラソンに協賛いたしました。

身の回りの環境ボランティア活動から日本の自然遺産を守る活動まで、当基金は、これからもお客様、環境市民団体、セブン-イレブン加盟店・本部と力を合わせ、より一層活動内容の充実を図り、地域に根ざした社会貢献活動を推進していきたいと考えております。

皆様の更なるご支援・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。